

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。



↑長栄座特設ページはこちら

# 「長栄座伝承会 むすひ」いよいよ完結!

8月5日(土)~12日(土)まで芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルを開催します。今年のポイントは、「琵琶湖」や「竹生島」をテーマにした演目が豊富で、滋賀の魅力が公演で味わえることです。

第一線でご活躍の古典芸能実演家が「むすひ(結び)」の名のもとに集い、3年計画で進めてきた「長栄座伝承会 むすひ」も今年で完結!お見逃しなく。

## 芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル ラインアップ 8月5日<sup>土</sup>~8月12日<sup>土</sup>

8月5日<sup>土</sup>・6日<sup>日</sup> 14:00開演 長栄座伝承会 むすひ ~東西を結び 刻を結び 乾坤を結び~

### 第1部 (邦楽アラカルト) 湖国神在祭 ~尺八による水鳥の二景~

都山流尺八本曲「鶴の巣籠」 尺八 野村峰山(人間国宝)  
野村峰山作曲「鳩の海に」 尺八 野村峰山 十七絃 野村祐子



野村峰山

幕間 野村峰山作曲「一つのまゆから」 長浜市立伊香具小学校児童

### 第2部 駅名連歌 まいばらはつ ~北陸本線金沢ゆき~ 新作初演

箏・十七絃・三弦 野村祐子、滋賀県邦楽専門集団「しほはり」 尺八 川崎貴久  
合唱 長浜市少年少女合唱団「輝らりキッズ」 舞踊 古典芸能キッズワークショップ日本舞踊修了生



切り絵:早川鉄兵

チケット情報



### 第3部 響鳴 ~日本三大弁財天と宇賀神将十五王子~近江竹生島大弁財天と五王子

箏曲 萩岡松韻、萩岡松柯 ほか 長唄 杵屋佐吉、杵屋佐喜 ほか 新作初演  
能(話) 渡邊荀之助、渡邊茂人 ダンス 中村香耶

[料金]一般 3,500円 青少年(24歳以下) 2,000円 全席指定 チケット好評発売中

8月11日<sup>金</sup> 15:00開演 片山九郎右衛門 親子で楽しむ日本の伝統芸能~能「大会」

能「竹生島」の舞囃子:古橋正邦、浦部幸裕 ほか  
絵本語り「天狗の恩返し」:片山九郎右衛門 ほか  
能「大会」:片山九郎右衛門 ほか



片山九郎右衛門

### 〈ワークショップ 13:00開始〉

小学生を対象に謡と仕舞のワークショップを行い、公演時にその成果を披露します。

講師:田茂井廣道、橋本光史、橋本忠樹



ワークショップの様子

8月12日<sup>土</sup> 14:00開演 びわ湖ホール声楽アンサンブル『美しい日本の歌』米原公演vol.3

唱歌や童謡、昭和から平成を彩った懐かしいメロディーを、日本情緒あふれる芝居小屋「長栄座」でお楽しみいただけます。

独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル  
指揮:本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)  
管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団

[料金]一般 2,750円 青少年(24歳以下) 1,100円 全席指定 チケット好評発売中



チケット情報

## 5月24日「長栄座伝承会むすひ」制作発表を行いました



第1部~第3部までの出演者や竹生島宝蔵寺管主に登壇いただき、各演目の見どころを発表しました。現地とオンラインを合わせて13社の報道関係者にご参加くださいました。

- 登壇者 野村峰山(のむらほうざん)(第1部出演、尺八演奏家・人間国宝)  
鳥塚貴絵(第2部児童合唱指揮、長浜市少年少女合唱団「輝らりキッズ」指導者)  
萩岡松韻(はぎおかしょういん)(第3部出演、箏・三弦演奏家) ※オンライン参加  
峰覚雄(みねかくゆう)(竹生島 宝蔵寺 管主)  
中村 豊(構成・演出)  
竹村憲男(館長)  
川島 宏(総括プロデューサー)

## 長栄座をさらに楽しむプレ企画

~地域の文化資源の劇場への活かし方~竹生島を題材に

芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルでは、「竹生島」に着目する企画が多数。この講座に参加してから公演を観ると面白さ倍増です。

7/2(日)開催 \*申し込み受付中

芸能における「竹生島」~「竹生島」を演じる

講師:小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)  
ゲスト:田茂井廣道(観世流能楽師シテ方)

地元の宝「竹生島」を芸能という視点から知るチャンスです!



申込はこちら



田茂井廣道

## 今年の〈芝居小屋「夏のフェスティバル」〉は、滋賀の魅力がたっぷり!

「長栄座伝承会むすひ」から

### 第1部 (邦楽アラカルト) 湖国神在祭~尺八による水鳥の二景~

令和4年に人間国宝に認定された尺八奏者・野村峰山が登場し、自身が作曲した「鳩の海に」を演奏します。鳩とは、琵琶湖に多く見られるカイツブリのことです。かつて琵琶湖は「鳩の海」と呼ばれていました。



幕間 野村峰山作曲「一つのまゆから」 長浜市立伊香具小学校児童

長浜市木之本町は、蚕の絹糸から作る和楽器弦生産地として有名です。野村峰山が同町にある伊香具小学校の愛唱歌「一つのまゆから」を約20年前に作曲し、現在も歌い継がれています。野村峰山が登場するこの機会に、児童が愛唱歌を披露します。

### 第2部 駅名連歌 まいばらはつ ~北陸本線金沢ゆき~

北陸本線は、米原を起点に長浜などを通って金沢まで向かいます。子ども達がふるさとの詞を歌い、舞を披露します。子ども達書いた各駅名の「書」も見ものです。そして、長浜市在住の画家による鳥瞰図も映像に登場! 乗り鉄でなくても、旅に誘われること間違いなしです。



### 第3部 響鳴 ~日本三大弁財天と宇賀神将十五王子~近江竹生島大弁財天と五王子

芸事と財運、そして水の神である「弁財天」をテーマに、江ノ島、厳島そして竹生島と日本三大弁財天を1年毎に取り上げ、3年かけて作りあげる公演の集大成! いよいよ、「竹生島大弁財天」の登場です! 「竹生島」という既存曲があることから発想された、箏曲×長唄×能(謡)の「三方掛け合」の演奏で魅せます。豪絃という珍しい楽器もお披露目します。また、早川鉄兵の切り絵が舞台を彩ります。



豪絃(木場大輔)

### 竹生島宝蔵寺 峰覚雄管主からのメッセージ

折しも来年2024年には、宝蔵寺開山1300年を迎えるにあたり、3年間にわたる「長栄座むすひ」の集大成としての本公演に竹生島をお取り上げいただく事、心より感謝申し上げます。当山は、神亀元年(724)聖武天皇の勅使として行基がこの島に渡り、天皇より託された一軀の弁財天像を安置したのが始まりと伝えられる『日本弁財天根本道場』でございます。演じられる音曲にのせて、弁財天の如意吉祥の種々の功德が、ご観覧の皆さまの元に届きますことを祈念申し上げます。

片山九郎右衛門 親子で楽しむ日本の伝統芸能~能「大会」から

能「大会」は、比叡山が舞台の天狗のお話です。片山九郎右衛門による絵本語りで物語を紐解いてくれるので、能の世界に自然に入り込めます。この公演では、滋賀にまつわる能の演目の紹介もあります。「竹生島」の舞囃子も披露。エッセンスをギュッと詰め込み、滋賀ゆかりの能楽師が演じます。



絵本語りの様子

## 地域創造部情報

### びわ湖・アーティストズ・みんぐる2023 「ガチャ・コン音楽祭Vol.3」

近江鉄道沿線で実施する音楽のアートプロジェクト。今回は太鼓文化がテーマ。出会いの場「駅」を舞台に滋賀の魅力をお楽しみください。



日時 9月18日(月・祝) 15:30開演予定  
会場 近江鉄道「高宮駅」ほか(彦根市高宮町)  
出演 【音楽】田辺響、山本啓  
【ダンス】佐藤まどか、佐藤健太郎  
【美術】藤野裕美子

ディレクター 野村誠(音楽家)  
お問い合わせ (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部  
TEL.077-523-7146  
鑑賞には申し込みが必要です。詳しくはHPをご覧ください。



### 令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業

## 森の音楽会

大人気の「栗コーダーカルテット」ほかの豪華共演でお贈ります。

日時 9月23日(土・祝) 14:00開演  
会場 みずほ文化センター(彦根市田原町11)  
出演 栗コーダーカルテット、ビューティフルハミングバード、東京楽団  
料金 一般 2,000円 24歳以下 1,000円 自由席  
チケット発売日 7月8日(土)  
お問い合わせ みずほ文化センター TEL.0749-43-8111  
プレイガイド びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) みずほ文化センター(現金・電話予約可)ほか

## 狂言「金剛輪寺 豆の木太鼓」

金剛輪寺に伝わる昔話「豆の木太鼓」を狂言にして上演します!

日時 9月24日(日) 14:00開演  
会場 愛荘町立ハーティーセンター 大ホール  
出演 茂山千五郎、茂山茂、網谷正美、山下守之、コーラスしゃぼん玉  
料金 一般 1,000円 24歳以下 500円 自由席  
チケット発売日 6月24日(土) ※当日各200円増し ※未就学児入場不可  
お問い合わせ 愛荘町立ハーティーセンター 大ホール TEL.0749-37-4110  
プレイガイド びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) ハーティーセンター 大ホール

## 季刊誌 湖国と文化 第184・夏号 特集 発掘!近江~1万年の地中の星

1万3000年前の土偶「愛知川のヴィナス」が見つかるなど、次々と掘り起こされる近江の歴史。近江での発掘調査は、日本の歴史の記述をより豊かにし、時には定説を書き換えています。湖国の発掘を担ってきたプロたちが、近年の成果を踏まえて、縄文時代以降の近江の歴史を綴ります。また、「発掘+史料」で見える世界を「小野妹子は最初の「外交官」か」「藤原氏と近江」など多彩なトピックスでお届けします。

2023年7月1日発行予定

<販売価格> 660円

<取り扱い>

県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など

<お問合せ・購入申込>

びわ湖芸術文化財団 地域創造部 「湖国と文化」編集室 (077-523-7146)



「湖国と文化」184号